

第 16 回

開催日時	平成26年3月26日(水) 18:30~19:00		
開催場所	茨城町役場 2階 大会議室		
出席者	委 員	小林一裕, 吉岡誠, 米川明宏, 石川祐一, 望月昇, 佐藤和彦, 廣戸隆, 和家貴之, 山西正樹, 江幡光陽, 中村敬治, 佐藤加代子, 萩谷元男, 坂本孝一, 郡司邦子, 上田明美, 佐藤方彦, 山口美知子, 美野田龍敬, 小貫和通, 海老澤忠 (敬称略, 順不同)	
	傍聴者	0名	
	その他	小林町長, 鈴木教育長, 村田教育次長	
	事務局	学校教育課再編担当	
会議次第	【議事】 ・最終報告書について 【茨城町立中学校統合準備委員会協議結果報告書】 ・教育長へ報告		

第16回 茨城町立中学校統合準備委員会 会 議 要 旨

1 開会

2 委員長あいさつ

本日、最終報告会を迎えることになった。

私達は、茨城町の未来を担う生徒達が思いやる心を持ち、心豊かに育つための教育環境を整備するため茨城町立中学校統合準備委員会を設立し、町内の各層から選出された22名の委員によって中学校統合に係る様々な課題を協議・決定して本日を迎えたわけである。

教育とは真理を尊重し、人格の完成を目標として行われるものであると教育基本法で述べられている。同じ地域で暮らす多くの人達が英知を結集し、協働の精神に基づいて教育環境が向上されることを願って委員長あいさつとする。

3 町長あいさつ

平成24年6月に第1回目の統合準備委員会を開催してから約2年間にわたり16回の会議を開き、統合に関する様々な課題について審議をしていただいた。学校の名称、校歌、校章、スクールバス等の問題について精力的な審議を賜り、立派な成果をあげていただいたことに深く感謝申し上げます。

平成26年1月18日(土)には、青葉中学校新校舎の竣工式を行った。また、3月16日(日)には梅香中学校の閉校式を、3月23日(日)には桜丘中学校の閉校式を行ったが、実行委員の皆様を中心として非常に立派な式典を行っていただいたと思う。

青葉中学校の新校舎建設にあたっては、立派な学校、そして子供達が学校に行きたくするような学校を建設してほしいということを設計会社に依頼したが、期待していた以上の学校が完成したと感じている。これもひとえに委員の皆様の熱心なご審議、そしてご指導があったからこそであると深く感謝しています。

現在は、地方行政において非常に課題が多い時代であり、少子高齢化、産業の空洞化、そしてそれに伴う人口の減少など、かつてない困難な時代を迎えている。先般、町では定住化促進条例を制定した。この条例は具体的事項には言及せず、定住化に関する概念的事項を定めたもので、定住化促進を目的として県内において先駆けて制定したものである。直面する問題は山積しているが、多くの方々による協働のまちづくりをしていくことが重要であり、その一環として次代を担う子供達の学習の場である青葉中学校が完成したことは本当に喜ばしい限りである。

桜丘中学校の校歌には「朝夕に仰ぐ校舎は 六百の心を結ぶ」というフレーズがある。これは創立当時の生徒数が約600人であったからであるが、今年度の生徒数は約150人で創立当時の約4分の1にまで減少した。若い世代、子供達がたくさん住む活力のある町にしていくとともに、子供達の教育環境の整備をはじめとして次代に向けた新たなまちづくりに皆で取り組んでいきたいと考えている。

委員の皆様には本当に苦勞をおかけしたが、これまでの協議によって本当に素晴らしい中学校の開校を迎えることができたことに感謝を申し上げ、統合準備委員会最終回にあたってのあいさつとする。

4 議事

議事(1) 最終報告書について

事務局

それでは、議事に入ります。

議事(1) 最終報告書について説明します。

前回、最終報告書案とほぼ同様の資料を配布し内容を確認していただいた。今回、最終報告書を取りまとめるにあたり、校旗、制服、体操服、カバン等の写真を追加掲載することにした。

最終報告書案の内容を確認していただき、お気づきの点があれば意見をいただき、必要であればこの場で修正をしたい。

特になければ、教育長に最終報告書を提出する。

5 教育長へ報告

委員長

【茨城町立中学校統合準備委員会協議結果の報告について（最終報告）】

茨城町立中学校統合準備委員会設置要綱第2条の所掌事項について、慎重に協議を重ね、全ての協議が終了しましたので、下記のとおり報告いたします。

1. 茨城町立中学校統合準備委員会の経過

平成24年6月5日に第1回を開催し、以降、平成26年3月6日まで15回の委員会を開催し、協議をしてまいりました。

2. 茨城町立中学校統合準備委員会委員名簿

委員は、議会代表、PTA代表、学区内住民代表及び学校代表の22名で構成され、委嘱の日から協議事項が終了する日まで務めました。

3. 茨城町立中学校統合準備委員会 協議結果

茨城町立中学校統合準備委員会設置要綱第2条の所掌事項であります統合校の名称、校歌、校章をはじめ、統合に関し必要な事項について、協議を重ね、別紙報告書のとおり決定いたしました。

なお、教育委員会におかれましては、統合後も引き続き、子供たちの教育環境の向上に努めていただきますようお願いいたします。

以上、報告いたします。

平成26年3月26日

茨城町教育委員会 教育長 鈴木 由美 様

茨城町立中学校統合準備委員会 委員長 佐藤 方彦

6 教育長あいさつ

統合準備委員会は16回目を迎え、この間、熱心かつ丁寧な審議により、素晴らしい中学校をつくることができました。先程、町長から大変素晴らしい校舎が完成したという話があったが、私も同様に感じているところである。

環境は人をつくると言うが、教育において最も大切なものは環境だろうと考えている。環境には物的なものとな人的なものがあり、物的な環境とは校舎や校庭などであるが、この素晴らしい学校をどのように維持していくのかということがこれからの最大の課題であると考えている。割れ窓理論というものがあり、ちょっとした割れた窓を1枚でも放置すると他の窓まで壊されてしまうが、逆に隅々まで常に整備が行き届いた校舎を維持していけば子供達は美しく澄んだ心を持ち続けられるということである。きれいな校舎が完成したので、極端な話ではあるが塵ひとつ落ちていない素晴らしい校舎を維持しながら子供達を育てていくことが学校に課せられた大きな課題であると考えている。

学校が統合することによって人的な環境面では様々なメリットがある。第一に、互いに競い合い、協力し合い、喜びや悲しみを分かち合える仲間が子供達に増えるということがあげられる。また、教職員にも仲間が増えて互いに学び合い、個々の資質が向上し、ひいては全体の教育力が向上するものと考えられる。さらに、もう一つ忘れてはならないのが学校や子供達を応援していただけるP

TAそして地域の方も増えるため、学校としてこれほど心強いことはないと考えている。

皆様の熱き思いを青葉中学校の校長をはじめ先生方に託し、私ども教育委員会も支援・指導をしながら、統合して本当に良かったと思える学校づくりに専念していきたいと考えている。今後とも皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願いします。

本当に長い間ありがとうございました。